

将来予想されている南海トラフ地震が発生し、高知県ハザードマップ上では震度 6 強の揺れが（棟）が平成 17 年に完成、事務所、外来診察室等、業所は平成 7 年に完成していて、耐震基準をすることのできる建物となっています。津波に関する地の液状化の可能性もなく、建物自体は倒壊持てきそうですが、病室のベットや床頭台、医療の転倒、移動等により利用者、職員が負傷する吸引等の建物内の重要な配管の損傷も考えられます。現在までに導入した防災関連の器具・備品に平成 24 年度にはポータブル発電機（軽油仕様）一度は職員対象の始動実技訓練を行っています。一般電話が使用できない時にも外部との連絡が販売機 3 台を導入しました。災害時には自販は全て無料で利用できる契約を締結しています。12 リットルを合計 420 本（840ℓ）無償で提供と入れ替えてもらっています。1 人 1 日 1 ℓ には 6 日分の飲料水が常時確保されていること。平成 26 年度には①BCP（事業継続計画）の急地震速報受信対応。③全ての病棟に救助装置。④上水道が断水した際の対策として、地下置。⑤平成 27 年度には施設内の電話回線が 13 台導入し病棟、事務、薬局、検査、給食、医。平成 28 年 6 月には 2 病棟のある新棟 2 階ドのままでスムーズにベランダに避難できる経路。平成 25 年度には、通園事業所を福祉避難所とした。このことを踏まえ、平成 27 年 1 月に、難所の設置運営に関する協定を締結しました。福祉避難所を使用する防災関連用品と防災倉庫施設としては従来から毎月第 3 木曜日に火。避難訓練を実施しています。年に一度は消防。護学校と連携して合同訓練も実施しています。

事務部長 土居 聡

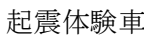
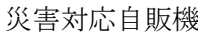
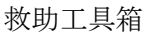
将来予想されている南海トラフ地震が発生した場合、土佐希望の家(南国市小籠107番地)は高知県ハザードマップ上では震度6強の揺れが想定されています。施設建物は新棟(1・2病棟)が平成17年に完成、事務所、外来診察室等のある管理棟は平成17年に全面改修、通園事業所は平成7年に完成していて、耐震基準をクリアしていますので、震度6強の揺れには耐えることのできる建物となっています。津波に関しては浸水被害の可能性はありません。また、土地の液状化の可能性もなく、建物自体は倒壊等の可能性は低く継続して使用できる状況を維持できそうですが、病室のベットや床頭台、医療機器、詰所内のキャビネットや机等の揺れによる転倒、移動等により利用者、職員が負傷する恐れがあり、更にはスプリンクラー、医療ガス、吸引等の建物内の重要な配管の損傷も考えられ、対策が必要となっています。現在までに導入した防災関連の器具・備品についてご紹介します。

平成24年度にはポータブル発電機、軽油仕様を6台導入し、毎月始動点検を実施し、年には職員対象の始動実技訓練を行っています。また、衛星電話を1台導入し、携帯電話、一度は職員対象の始動実技訓練を行っています。更に、災害時対応飲料水自動販売機3台を導入しました。災害時には自販機の鍵を預かっていますので、自販機内の飲料水は全て無料で利用できる契約を締結しています。併せて自販機業者から常時ミネラルウォーター12リットルを合計420本(840ℓ)無償で提供を受けています。消費期限が来る前に新しいものに入れ替えてもらっています。1人1日1ℓ必要として、定員140名で換算すると入所者の方には6日分の飲料水が常時確保されていることとなります。

平成26年度には①BCP(事業継続計画)の策定に着手。②院内ピッチ(PHS電話)全台を緊急地震速報受信対応。③全ての病棟に救助工具箱(バル・ハンマー・ジャッキ・斧等一式)を設置。④上水道が断水した際の対策として、地下水利用開始。以上4つの項目について取り組みました。平成27年度には施設内の電話回線が不通となった場合の対策として、トランシーバー13台導入し病棟、事務、薬局、検査、給食、医局等の部門間の通信機能を確保しました。そして平成28年6月には2病棟のある新棟2階のベランダへの出入り口のサッシドアを改修し、ベツドのままでスムーズにベランダに避難できる経路を確保する工事を行いました。

平成25年度には、通園事業所を福祉避難所として活用できるように、補助を受け増築をしました。このことを踏まえ、平成27年1月に、南国市と重症心身障害児者を受入れる福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。また、平成28年には南国市から補助を受け福祉避難所で使用する防災関連用品と防災倉庫を購入・設置しました。

施設としては従来から毎月第3木曜日に火災・地震を夜間と日中それぞれの場合を想定して避難訓練を実施しています。年に一度は消防署立会いのもと訓練を実施し、また隣接する養護学校と連携して合同訓練も実施しています。



管野里名(母)

文人が土佐希望の家でお世話になり始めて半年が経ちました。今回、掲載のお話をいただいたので文人の紹介をさせていただきます。

文人は今、4歳の男の子。元気な頃は、仮面ライダー等の戦隊ものが大好きで、朝目覚めては、まだ寝ている私達に「あー、あー」とおそこの辺りをバンバン叩きながら、変身ベルトをつけるように催促する活発な子でした。3歳年上のお姉ちゃんと、玩具の取り合いでよく喧嘩していたのを昨日の事のように思い出します。文人は生まれて間もなく、食物アレルギーがある事が分かって除去食をしたり、言葉の発達が遅く、こだわりが強いことから、自閉症を疑われたりしながらも元気に成長していきました。

しかし昨年、急性脳症を発症し、命は助かりましたが、現在も意識がない状態です。1年近く高知医療センターへ入院し、今年初めに土佐希望の家に転院してきました。

意識がないため、反応がありませんが、反応が無くても「心」では感じてくれているだろうと信じ、毎日接しています。

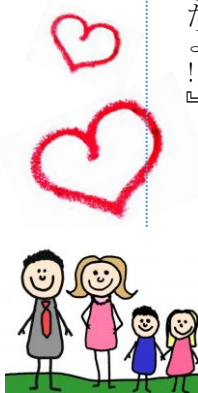
医療センターや希望の家の皆様と友人達のサポートのお陰で、私たち家族はこの一年半を乗り切り、そして多くの事を学ばせていただきました。恐らく、文人がこのような状態になら

なければわからなかつたであらう経験、新たな出会い……。語り尽くせない程の大きな『もの』を文人は私たちに与えてくれた気がします。うまくは言えませんが、文人は私たちに『多くのもの』を教えるために、私たちのもとに生まれてきてくれたのだらうと思います。

今年の初めは、文人の状態が不安定なこともありました。希望の家の皆様のお陰で、状態も落ち着いてきました。これから散歩など、色々とできることが増え、少しずつでも文人の刺激になればいいなと思います。

最後に、
『文人、一つ一つのペースはゆっくりでも一緒に歩んでいこう。家族みんな、文人のこ
と、大好きだよ!!』

私の仕事
(33)



医務部
検査 臨床検査技師
主任 小舩 恵子

医療もシステム化が容易な部署からデジタル化されており、土佐希望の家でも導入が開始されています。検査室でも昨年度から、臨床検査システムの運用が始まっています。前回、土佐希望の家通信に紹介された頃は「検査結果は各病棟へ持参する」が基本でしたが、現在は検査実施状況・検査結果・報告が、各病棟・医局・診察室のパソコン端末から確認が可能となり、検査結果の報告時間が迅速かつ正確に皆様のもとに届いています。また検査システムに蓄積された情報は、検査結果の検索や時系列表示等利用者の皆さんに応じた報告書の作成等ができるようになり、診療に役立っています。

しかしデジタル化は良いこともある反面、受付作業等、今までにはなかった作業が入り、検査結果のカルテ管理・保管を各病棟にお任せすることとなり仕事の負担が増し、病棟スタッフにご迷惑をお掛けする形となつてしまいました。他部署の協力体制のもと、現在支障なくシステム運用ができています。この現状に感謝しつつ検査室は日々臨床検査システムとにらめっこしながら仕事をしております。

アナログ時代には、検査結果報告書を
持参して検査室に帰るまで、各病棟の楽し
そうな雰囲気や病棟の状況を肌で感じ取
ることができていたなど懐かしく思い返す
時もあります。病棟に行く機会はめつくり
と減ってしまいましたが、生理検査(脳波・
心電図・ホルター型心電図検査・超音波検
査等)時に利用者様にはお目にかかつてい
ます。検査時は安静が基本ですが、検査が
できる程度の元気度を見せていただけると
嬉しいなと思ったりします。

次回 原稿依頼がきた時には、もしかし
たら何か新たな業務で検査室はあたふた
しているかもしれません、良き事は取り
入れ、しかし古き事も大切にしていける、
そんな検査室であれたらと思っています。

～各病棟より～

2病棟 一泊旅行「サンピア・桂浜」

6月1～2日、西原由佳さん、山本やしおさんが一泊旅行へ出掛けました。桂浜では水族館の亀やペンギンの散歩にびっくり！！やしおさんが海亀とアシカへの餌やり体験をしました。ホテルでは由佳さんとやしおさんの歌で盛り上がりしました。



1病棟 一泊旅行「かんぽの宿・イオン」

6月24～25日、伊野のかんぽの宿に泊まってきました。メンバーは森田裕美子さん、矢野浩一さん、宮崎義夫さんの3名。梅雨の晴れ間で天気も良く、仁淀川の風景を楽しみ宿のご馳走もたっぷりいただき、満喫した旅行となりました。二日目はイオンでショッピングとランチを楽しみました。また行きたいね。



7月6～7日、公文香奈さん、正木利香さん、山下太さんが一泊旅行に出掛けました。初日は午後より桂浜に出かけ、水族館で色々な魚を見たり、カメに餌をあげたりと、海の生物たちと戯れました。そして！お楽しみの夕食は宿泊先のサンピアセリースでの懐石料理。様々な種類の料理が次から次へと出てくる光景に皆さん眼を輝かせていました。翌日はイオン高知でお買い物。3人とも欲しかったものをそれぞれ購入し、1階の洋食屋さんでランチを食べ、希望の家へと帰りました。

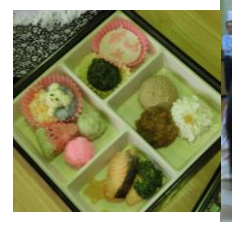


3病棟 一泊旅行「サンピア・桂浜」

通園遠足(運動会)

5月25日、長岡西部体育館にて通園運動会が開催されました。昨年に引き続きの運動会。皆さん攻略法を得て気合が入っていました。準備体操ではこれから流行するラーメン体操から始まり、ボーリングやクイズO×ショー等の様々な種目で「赤勝て!!白勝て!!」の応援で盛り上がりしました。結果は赤組優勝。楽しい時間と親睦を深めることができました。来年はどんな種目が出てくるか楽しみです。

利用者様、保護者様、お疲れ様でした。次回、秋の遠足もよろしく願います。



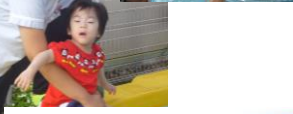
カラオケ大会

7月10日、通園ホールにてカラオケ大会が開催されました。初参加の1病棟 竹村紘平さん「手のひらを太陽に」から始まり、11名の歌自慢が歌を披露しました。マイク片手に皆さん、張り切って歌いました。



プール開き

夏だ！暑い太陽、プールの始まり！水の感触に皆さん、ときどきしながらも笑顔でした。



ちよっといひ話

前回の質問の答え☆
山の名前は「年越山」(としこしやま)です。



ご厚意

【寄付金・寄付物品】

田村光昭様 SDA教団高知キリスト教会
藤田佳大様・小林豊様・北村忠司様・久富久貴様・ソスル神社へ奉賽して下さった方

ありがとうございました。
今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

「障害があってもなくても、みんな一人ひとりに授かった大切な命……」
記事の編集を行いながら気付かされま

す。
そして、その命の大切さを伝え、尊厳をどのようにして守っていくか。福祉に携わる一人としてずっと考えています。

7月、神奈川県相模原市の障害者施設で痛ましい事件が起きました。お亡くなりになられた方、お怪我をされた方、そしてご家族、関係者の方々、謹んでお悔やみとご冥福の祈念を申し上げます。
次号では8月に実施する南国警察署署員様を迎えての義務研修「防犯体制への取り組み」について報告させていただきます。

ちよっといひ話パート2

夏のある日、3病棟にいると利用者のMさんから「石川さん！」と声を掛けられました。近付いていくと「石川さん元気？」と。いつもだったら「元気だよMさんは？」と答えるのですが、「元気……と言いたところだけど、最近色々あって元気なくてね。」と伝えてしまいました。Mさんは私の顔をじっと見てしばらくして「石川さんだったら、大丈夫!!」と笑顔で答えくれました。

Mさんから優しさと思いやりをいただき、泣きたくなくなるくらい嬉しかったです。Mさん、元気になりましたよ、いつも見ていてくれてありがとう☆
ソーシャルワーカー 石川

希望の家祭お知らせ

第38回 希望の家祭
今年の希望の家祭の日程が決まりました！

2016年10月9日(日)
10:30～15:00

「テーマ」
希望の家の元気お届け！！
～みんなに元気をお裾分け～
ステージ・喫茶・展示・フリーマーケット等々…
皆さまのお越しをお待ちしています！！

